

## 笠松のイメージカラーは何色？

教育文化課・道徳のまち笠松

岐阜女子大学生による提案会が、6月27日に開催されました。今回は、まちの駅「杉山邸」を会場に、「町のイメージカラーとオレンジ日和」として、心を大切にする笠松のまちづくりにかかわる二つの提案がなされました。

一つ目は町のイメージカラーについての提案。

笠松のイメージカラーと言えば、地名に由来する松の「みどり色」、木曽川の「みず色」をイメージされる方が多いのでは。しかし、学生たちはオレンジ色をイメージしました。学生たちが笠松町を訪れた最初の印象は、昔栄えていた風景であり暗い色の感じだったそうです。しかし、町中で暮らす人々の明るさ、品の良さ、温かさに触れ、心の落ち着く町だと感じるようになり、町の良さを活かしたエネルギッシュな町にできないかという思いに駆られ「オレンジ色」に！この色は、元気、活力、温かさを感じさせ、夢に向かう色であり、発想の転換を感じさせます。

二つ目は、エネルギッシュな町への転換をめざす企画提案。



まちの駅 杉山であい邸の駅（杉山邸）で、女子学生の提案をもとに意見を交流する皆さん

商店街を単に通り返る道にしておくのではなく、集う人が町をゆっくり見つめ、それぞれの思いを押し出し、交流したり、触れ合ったりして心を通わせる催しをしてはどうかというもので、名づけて「オレンジ日和」。笠松町を元気な町にしたい。これは、みんなの願いであり、現状からどう踏み出すか。更なる議論を要する提案となりました。

## 社会や人との関わりなどをテーマに発表

第32回少年の主張大会を開催

町青少年育成町民会議主催の「第32回少年の主張大会」が6月26日、中央公民館で開催されました。小学生・中学生の順で、心に感じたこと考えたことなどの力強い発表がありました。

最優秀賞に選ばれた2人は、町の代表として岐阜県大会出場者選考委員会に推薦されました。

審査結果は、次のとおりです。（敬称略・順不同）

【最優秀賞】廣瀬未佳（笠松中3年）

道家愛実（笠松中3年）



▲最優秀賞に選ばれた廣瀬さんは「私の夢」のテーマで発表



▲最優秀賞に選ばれた道家さんは「全ての子供が笑顔になれる世界を」のテーマで発表

【優 秀 賞】橋本和磨（松枝小6年）  
奥村佳永（笠松小6年）  
岩田啓一朗（笠松中3年）

金森香怜（松枝小6年）  
森 裕哉（下羽栗小6年）  
間野涼子（笠松中3年）

箕浦秀斗（笠松小6年）  
森 塔子（下羽栗小6年）  
岩田裕斗（笠松中3年）